

平成29(2017)年度
事業計画書
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

平成29年3月27日

公益財団法人日本ユースリーダー協会

《与件》平成29年度は、新3カ年計画(H28～H30年度)の2年目。

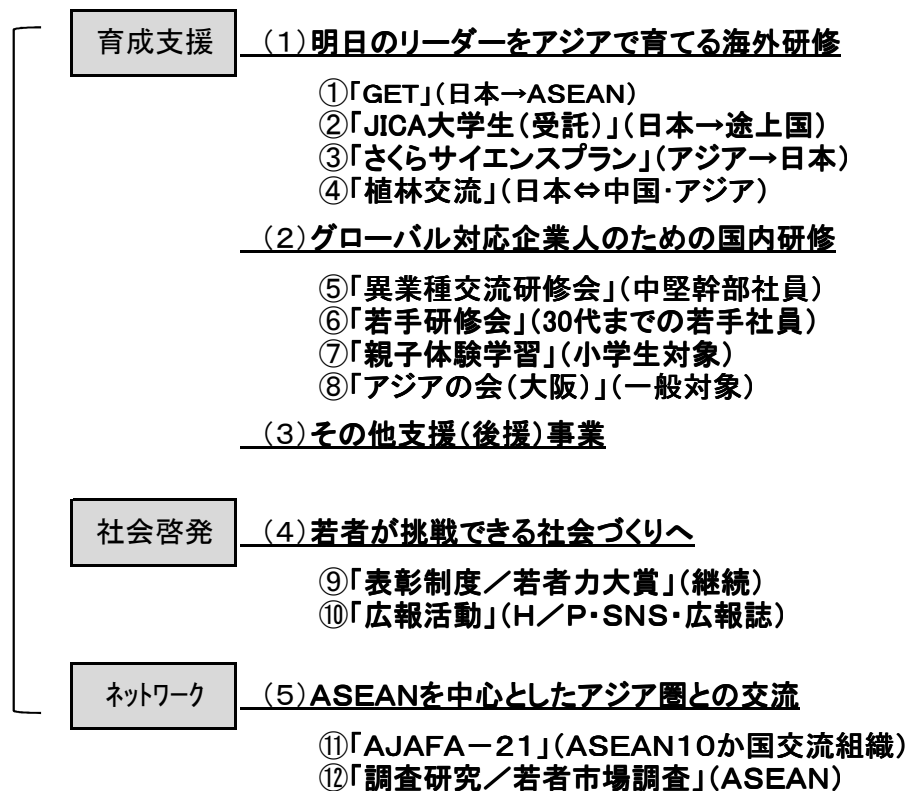
新3カ年計画(H28～30年度 / 2016～2018年度)

- ★ 基本方針 ……◎ **アジアをフィールドに次代のユースリーダーを育成する(継続)**
- ①ASEAN諸国の交流ネットワーク(AJAF A-21)との連携がプラットフォーム
 - ②日本の若者を対象に海外研修(GET)を実施(AJAF A-21との連携)
 - ③ASEAN諸国や中国などからの研修受入と世代間交流

◆合言葉は

飛び出せ若者！！

- ★ 3年間の目標 .. (1) 500名の若者の、アジアでのリーダー体験を実践する。
「GET(240)」「さくら(100)」「JICA(80)」「植林交流(80)」
- (2) 600名の若者応援サポーターの輪を広げる。
「個人会員(300)」「学生・留学生(300)」
※資金援助(個人会員)と、若者ネットワーク(学生層)の両輪。
- ★ 事業計画 ……◎ 事業はすべて公益事業とし、3つの目的をもって構成する。



- ★ 組織体制 ……◎ 運営幹事会＝実質審議を行う執行理事会議として毎月開催
◎ 事業委員会＝担当理事による委員会執行体制での事業推進
- ★ 財政基盤 ……◎ 法人会員・個人会員の拡大 → 法人会員100社目標
◎ 助成金・補助金事業の開拓 → 外務省・文科省・JICA・JSTほか

I. 平成29年度 事業計画

I. 育成支援事業

◎育成支援事業収支予算:▲5760千円(H28見込▲7626千円)

(1) 海外研修事業

◆(1)事業収支予算:▲4700千円(H28見込:▲7518千円)

① 「グローバル・エデュケーション・ツアー (GET)」(短期海外研修)

◇①事業収支予算:▲4800千円(収入9000・支出13800)(H28見込:▲6916千円)

当協会の中核事業として、日本の高校生・大学生を対象にした海外体験型研修事業を継続して実施。

AJAF A-21有効団体の現地協力体制の連携強化に取り組む。
参加学生の集客力をより高め、また事務局スタッフの補強に伴い、
実施体制の内製化を進め、生産性(費用効率)を高める。

- (1) 研修実施……夏(8月)・春(3月) 各コース20名×3回
- (2) 参加学生の集客力を高める。…申込定員超過を目指す。
- (3) 現地協力体制…AJAF A友好団体との連携強化
- (4) プログラムの更なる充実化…ミッションの定着化と成果の向上
- (5) 安全管理対策…現地情報網の充実、危機発生時対応等
- (6) 卒業生の組織化検討…(例)留学生懇談会・さくらプラン学生交流等
- (7) 収支計画……今年度は参加費@149800(負担上限@80千円/人)

② 「JICA研修プログラム」(大学生フィールドスタディプログラム)(受託)

◇②事業収支:▲100千円(収入0・支出100)(H28見込:0千円)

H25年度よりスタートしたJICAによる研修事業を、再度受託を獲得する。
(※公開入札方式によるコンペティション。今年度は単独提案。)
過去2年の反省を活かして、安全管理面・コスト面・持続性などの点から、
現地での受け入れ体制の強化に努める。(AJAF A-21との連携)

- (1) 企画提案……今年度もコンペに参加し獲得を目指す。
- (2) 現地体制の強化…上記のGET事業とも共通

③ 「JST・さくらサイエンスプラン」(日本・アジア青少年サイエンス交流事業)(補助)

◇③事業収支:+200千円(収入6000・支出5800)(H28見込:▲602千円)

H26年度よりスタートした「さくらサイエンスプラン」の補助金申請を行う。
29年度は、①「ベトナム」②「AJAF A加盟国」からの交流受入計画を立案。

- (1) 企画提案・補助金申請…4月→実施:9月頃(15名程度・1週間)
7月→実施:12月頃(" ")
2月→実施:次年度7月頃(" ")

④ 「植林交流」(日本と中国・アジア)

29年度は休止し、新たな動きがあれば再検討する。

(2) 国内研修事業

◆(2)事業収支予算:▲260千円(H28見込:▲108千円)

⑤ 「異業種交流研修会」 ◇⑤事業収支予算:▲30千円(収入120・支出150)(H28見込:▲71千円)

当協会の法人会員をはじめ、企業の中堅幹部社員を対象として、
毎回、斯界を代表する講師を迎えて開催する研修会。
29年度は年間2回(7・1月予定)の開催を実施。

⑥ 「若手研修会」 ◇⑥事業収支予算:▲30千円(収入120・支出150)(H28見込:▲37千円)

「異業種交流研修会」の弟版。企業の20代～30代の若手社員を対象に、
異業種の集まりという利点を生かして、相互の会社見学や懇親を通して、
見て、学ぶ研修会。
29年度は年間2回(4・10月予定)の開催を実施。

⑦ 「親子体験学習」 ◇⑦事業収支予算:±0千円(収入50・支出50)(H28見込:0千円)

小中学生を対象にした親子で学ぶ体験学習。
主会場は新江の島水族館で、海の生き物たちとのふれあいや、水族館内の
バックヤード見学などを、親子(家族)が一緒になって体験する催し。
29年度も(6月予定)水族館の体験学習を計画。

⑧ 「アジアの会(大阪)」 ◇⑧事業収支予算:▲200千円(H28見込:▲0千円)

アジア圏の歴史、文化、そして現在の状況を学ぶ大阪地区での研修会。
通算50回を超す息の長い会合を継続して行う。
29年度も年間4回開催予定:5月・8月・11月・2月

(3) その他支援事業

◆(3)事業収支予算:▲100千円(H28見込:▲0千円)

i 「後援活動／忘れない、3.11」(幸福(しあわせ)の黄色いバンダナの会)

できる範囲の継続的な被災地復興支援を活動趣旨に、明日への一歩を
踏み出す意味で毎年3月12日に開催されている「忘れない、3.11(vol.7)」
イベントに29年度も後援協力する。

ii 「友好団体支援活動」

そのほかに、友好団体が取り組む若者支援活動に対して、可能な範囲で
協力支援を行う。

Ⅱ. 社会啓発事業

◎社会啓発事業収支予算: ▲3000千円(H28見込▲2831千円)

(4) 若者が挑戦できる社会づくりへ

◆(4)事業収支予算: ▲3300千円(収入700・支出4000)(H28見込: ▲3587千円)

⑨ 「第9回若者力大賞」 ◇⑨事業収支予算: ▲1800千円(収入700・支出2500)(H28見込: ▲1962千円)

29年度も「若者力大賞」の選考と表彰を実施する。
若者が挑戦できる社会をつくるという当協会の活動理念に添って、社会のために人知れず努力している若者たちを顕彰し、まわりの大人たちが、彼らの活動に目を向け、理解し、そして応援していくことを目的に実施。同時に、次に続く若い世代の参加も積極的に促していく。

(1)「第9回若者力大賞表彰式」・・・2018. 2開催予定

(2)「受賞者OB会」・・・組織化・活動計画・事業企画検討

⑩ 「広報活動」 ◇⑩事業収支予算: ▲1500千円(H28見込: ▲1215千円)

年間の広報計画(スケジュール・発信内容等)を組み立て、各種の広報ツールを効果的に活用して、発信力を高めていく。

i 「広報誌:YOUTH LEADER」の発行

◇事業収支予算: ▲1400千円(H28見込: ▲1115千円)

毎年2回(5月・11月)発行、上半期及び下半期の活動内容を報告。
29年度も2回発行。英文PRツールの新規作成にも着手。

広報誌発行・・・各2,000部(役員・会員・関係機関・協会活動参加者 等)

ii 「ホームページ」の随時コンテンツ更新 ◇事業収支予算: ▲100千円(H28見込: 100千円)

協会の情報公開と、広報誌と連動して活動ニュースを随時配信。
また各種イベントへの幅広い公募活動にも積極的に活用を図る。
英文表記も検討する。

iii 「ソーシャルメディア」の活用 ◇事業収支予算: 0千円(H28見込: 0千円)

Facebook、TwitterなどのSNSを使った情報発信を行ない、データベースを活用したメールマガジンで、タイムリーかつ漏れのない情報発信に取り組む。
同時に、情報の管理マニュアルを徹底する。

Ⅲ. ネットワーク事業

◎NW事業収支予算:▲1800千円(H28見込▲410千円)

(5) ASEANを中心としたアジア圏との交流

◆(5)事業収支予算:▲1800千円(収入0・支出1800)(H28見込:▲410千円)

⑪「AJAFA-21との交流促進」

◇⑪事業収支予算:▲1500千円(H28見込:▲410千円)

日本で研修を受けたASEAN諸国からの研修生の同窓会組織である「AJAFA-21」との交流をさらに深めていく。「リーダーズ・フォーラム(RLF)」「代表者会議(ECM)」、そして年3回の「TV会議」に継続参加し、交流を深めると同時に、ネットワークの更なる強化に取り組み、「GET」をはじめとする海外研修事業の成果に繋げる。

- (1) 交流活動(RLF/ECM/TVC)・・・参加範囲の拡充(RLF)
- (2) 組織改革への進言……………JICAへのアプローチ等
- (3) 共同事業(活動)の可能性研究……………フィジビリティ・スタディの実施
- (4) 各国訪日団の受け入れ……………(例)JAAP訪日団

⑫「調査研究」(ASEANと日本の若者定点観測等→調査受託)

◇⑫事業収支予算:▲300千円(H28見込:0千円)

AJAFA-21のネットワークをフル活用して、オリジナル視点での域内調査研究計画を検討する。ベンチマーキングができるようになれば、外部からの調査受託の可能性も視野に入れる。

Ⅱ. 平成29年度(2017) 事業委員会

◆主要事業は、別に定める委員会運営細則にもとづき、委員会を設置して実施する。
29年度も、下記の委員会を継続して設置する。

(敬称略)

委員会名	内容	担当(理事・外部)	事務局
＜国際交流・研修＞ ◆委員長 阪本 時彦	①「AJAFA-21」との交流・連携	} 久世 里吉 村岡 笛吹 小室	
	②「GET」の企画・実施		
	③「JICA大学生研修事業」提案・受託		
	④「さくらプラン」申請・実施		
	⑤安全/危機管理		
＜国内研修＞ ◆委員長 小笠原幹治	①異業種交流研修会	} 秀島 下村 倉田	
	②若手研修会		
	③親子体験学習		
	④アジアの会		
＜若者力大賞＞ ◆委員長 家本賢太郎	①「第9回若者力大賞」選考・表彰	} 佐藤 野村 藤村 福嶋	
	②「第2回受賞者講演会」企画・実施		
	③「受賞者OB会」組織化		

※副委員長は、委員長の指名によって選任されます。

Ⅲ. 平成29年度(2017) 組織運営全般

組織運営全般

◎収支予算: +9672千円(H28見込+12,111千円)

- ◆内訳 □ ◇会費等収入: 33502千円(会費32200・寄附金1200・雑収入102)
 ◇管理費支出: 23830千円(人件費13700事務所費4000事務経費6130)

(1) 公式会議

- ① 「評議員会(5月)」「理事会(4月・5月・11月・3月)」「運営幹事会(毎月)」の開催
 → 「評議員会」…前年度事業・決算承認／役員選任／定款変更等
 → 「理事会」…前年度事業・決算承認／次年度事業・予算承認／規程変更等
 → 「運営幹事会」・運営全般管理／委員会活動／緊急事案の協議・決定等

(2) 会員管理

- ① 「会員(法人・個人)維持」…定期的コミュニケーション・研修への勧誘対策
 ② 「会長サロン」継続開催 ……法人会員代表者の理解促進・協力依頼

(3) 事務運営

- ① 「事務局(4名)」+「業務委託者(若干名)」…新規採用2名(契約)。
 海外事業等の内製化を進める。

◆H29年度 総事業予算 (千円)

	(収入)	(支出)	(差額)
◆事業関連(Ⅰ－Ⅲ)	15,940	26,100	-10,160
◆会費・運営費	33,502	23,830	9,672

合計	49,442	49,930	-488
-----------	---------------	---------------	-------------